

令和4年5月23日

保護者の皆様へ

紀の川市立池田小学校
校長 上野 大雄

熱中症予防及びマスクの着用について

平素より本校教育の充実にご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、まだ湿度はそこまで高くないですが、気温は徐々に高くなってきました。

つきましては、熱中症予防のため、お茶やスポーツ飲料等、十分な水分を必ず持たせていただきますようお願いいたします。

また、ご家庭でも下記のような熱中症対策にもご協力ください。

記

- 早ね、早起き、朝ご飯を励行ください。(不規則な生活は体調を崩します。)
- 登下校や外出時には、帽子をかぶるようにしてください。
- 日傘や濃い色の雨傘を、登下校時に日よけとして使用してもかまいません。(風の強い日や車の通行量の激しい道路などでは危険なこともあるので、取り扱いに注意するよう家庭でも指導してください。また、透明の傘は温室効果があり、逆効果なのでおやめください。)
- 途中でつきることがあるので、多めの水分を持たせてください。
- ペットボトルの飲料を持ってくるときは、ペットボトルホルダーに入れるか、水筒に移し替えて持ってきてください。
- 汗をかくので、タオルや着替えの下着を持たせてください。

<マスクの着用について>

本校でも本年度4月から今まで、10名弱の児童の新型コロナウイルスへの感染が報告されています。保健所からは、本校でのマスクの着用状況や活動制限等の感染防止対策が徹底できていることと、その後、校内での感染の広がりが少ないことから、学級閉鎖の措置をとらなくてもよいとの指示が出されています。それは罹患してしまった児童が、学校できちんとマスクを着用していた結果、感染が広がらなかったと認識しています。しかしながら、いつ校内で児童間や職員間で二次感染が発生してもおかしくない状況であります。

そのような中ですが、熱中症予防対策も新型コロナウイルスへの感染と同じく「児童の命を守る」ためには必要不可欠なことです。先日、厚生労働省からも、マスクの着用について指針が出されました。本校では、感染症対策を行いながら、熱中症予防対策として、暫定的に以下のことを子供達に指導していきます。なお、今後の熱中症指数(WBGT)やコロナ感染状況を慎重に見極めて、柔軟に対応してまいります。

- 登下校時もマスクを着用するが、暑い場合や息苦しさを感じた場合は、近くの友達と距離(2m以上)をとりマスクを外してもよい。ただし、校門から中はマスクを着用する。
- 休憩などに運動場で遊ぶとき、暑い場合や息苦しさを感じた場合は近くの友達と距離(2m以上)をとりマスクを外してもよい。ただし、児童玄関や校舎内に入るときはマスクを着用する。
- 体育や学校行事等の活動の時は、その日の熱中症指数(WBGT)を考慮し、柔軟に対応する。

以上、保護者の皆様のご理解とご協力をよろしく申し上げます。